

中学生記者 やりがい発見

本紙宇都宮支局 取材や執筆挑戦

宇都宮市立陽南中の生徒2人が、社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」で、6月28日から2日まで

の5日間、読売新聞宇都宮支局で新聞記者の仕事を経験した。2日はホテルニューイタヤ(宇都宮市大通り)



インタビューに挑戦する黒川さん(中央)と大平さん(右)(2日、ホテルニューイタヤで)

でホテルマンをインタビューし、記事作りに挑戦した。体験学習では宇都宮市立中の2年生が様々な事業所に出向く。読売新聞で学んだのは黒川詩波さん(13)と大平楓花さん(13)。記者と一緒に宇都宮市の定例記者会見を見学したり、表彰を受けた団体の知事訪問取材したりし、指導を受けながら記事も執筆した。

最終日はホテルニューイタヤの料飲部の支配人矢田部修さん(47)をインタビューした。矢田部さんはブライダル(花嫁衣装)の責任者も務め、2人が「思い出に残るおもてなしは」と質問すると、JR宇都宮駅前で挙式を企画した経験などを披露し、2人は熱心にメモを取った。原稿を執筆後、黒川さん

は「聞いた話を記事でうまくまとめるおもしろさが分かった」と笑顔で話し、大平さんは「聞きたいことを的確に質問するのが難しかった。もっとインタビューがうまくなりたい」と目を輝かせていた。

読 賣 新 聞

2021年(令和3年)7月3日(土曜日)